

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2010年2月14日

### 聖日礼拝

ヨナ書連講①

「み顔を避ける預言者」

ヨナ書1章1-6節

竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 旧約聖書

### ヨナ書1章1-6節

- 1 アミタイの子ヨナに  
次のような主のことばがあった。
- 2 「立って、  
あの大きな町ニネベに行き、  
これに向かって叫べ。  
彼らの悪がわたしの前に  
上って来たからだ。」

3 しかしヨナは、  
主の御顔を避けて  
タルシシユへのがれようとし、  
立って、ヨツパに下った。  
彼は、  
タルシシユ行きの船を見つけ、  
船賃を払ってそれに乗り、  
主の御顔を避けて、  
みなといっしょに  
タルシシユへ行こうとした。

4 さて、

主は大風を海に吹きつけられた。  
それで海に激しい暴風が起こり、  
船は難破しそうになった。

5 水夫たちは恐れ、  
彼らはそれぞれ、  
自分の神に向かって叫び、  
船を軽くしようと船の積荷を  
海に投げ捨てた。  
しかし、  
ヨナは船底に降りて行って  
横になり、  
ぐっすり寝込んでいた。

6 船長が近づいて来て彼に言った。

「いったいどうしたことが。

寝込んだりして。

起きて、

あなたの神にお願いしなさい。

あるいは、

神が私たちに

心を留めてくださって、

私たちは滅びないで

すむかもしれない。」

# 説教

ヨナ書連講①

「御顔を避ける預言者」

ヨナ書1章1-6節

竿代 照夫 牧師



主テキスト：

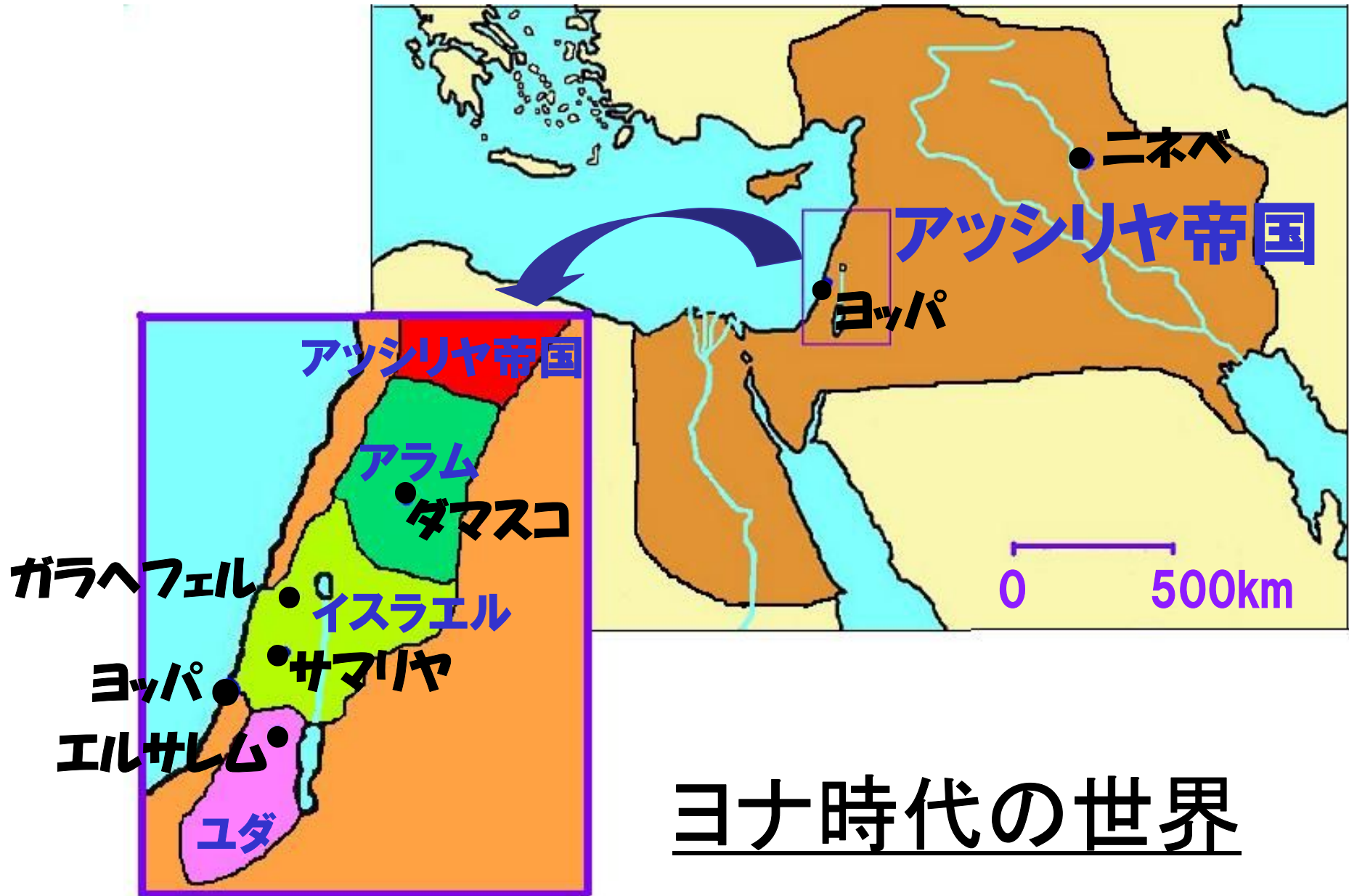
「しかしヨナは、  
主の御顔を避けて  
タルシシュヘのがれようとし、  
立って、ヨツパに下った。」

**(ヨナ1:3)**

# 1. 「そして」 (1:1) から 始まるヨナ書

## 2. ヨナの登場 (1節)

- ・ ヨナとは：  
**BC8世紀前半のイスラエルの  
預言者、名前の意味は「鳩」、  
ガテ・ヘフェル出身**
- ・ ヨナの予言：  
**領土回復予言が  
ヤラベアム2世時代に成就  
(2列王14:25)**



## ヨナ時代の世界

### 3. ニネベへのメッセージ(2節)

- ・ニネベとは：アッシリヤの首都  
シャルマネセル2世 (859—825)  
サマースーアダド5世 (824—811)  
アダドニラリ3世 (810—785)  
と続く征服活動

- ・ニネベの悪：  
ソドム・ゴモラと同様  
(創世記18:20、19:13)

- ・21世紀の悪は？

## 4. 神の顔を避けたヨナ(3節 a)

- 御心よりも「愛国心」
- 「憐れみの神」への怒り
- 「神の愛」を  
体験的に捉え損なう
- 「神の義」を行過ぎて捉える
- 「神の遍在」を信じない

## 5. 「渡りに船」と「摂理」 の違い(3節b)

- ヨツパまでの道筋：  
ガテ・ヘフェルから**90** k m
- 渡りに船：タルシシュ行きの舟

6. 大嵐に遭遇(4－6節)：

神から離れられない

(詩篇**139:7－10**)

おわりに：

自分に対する透明性と  
神に対する信頼を！